atERIC2013CR 記録

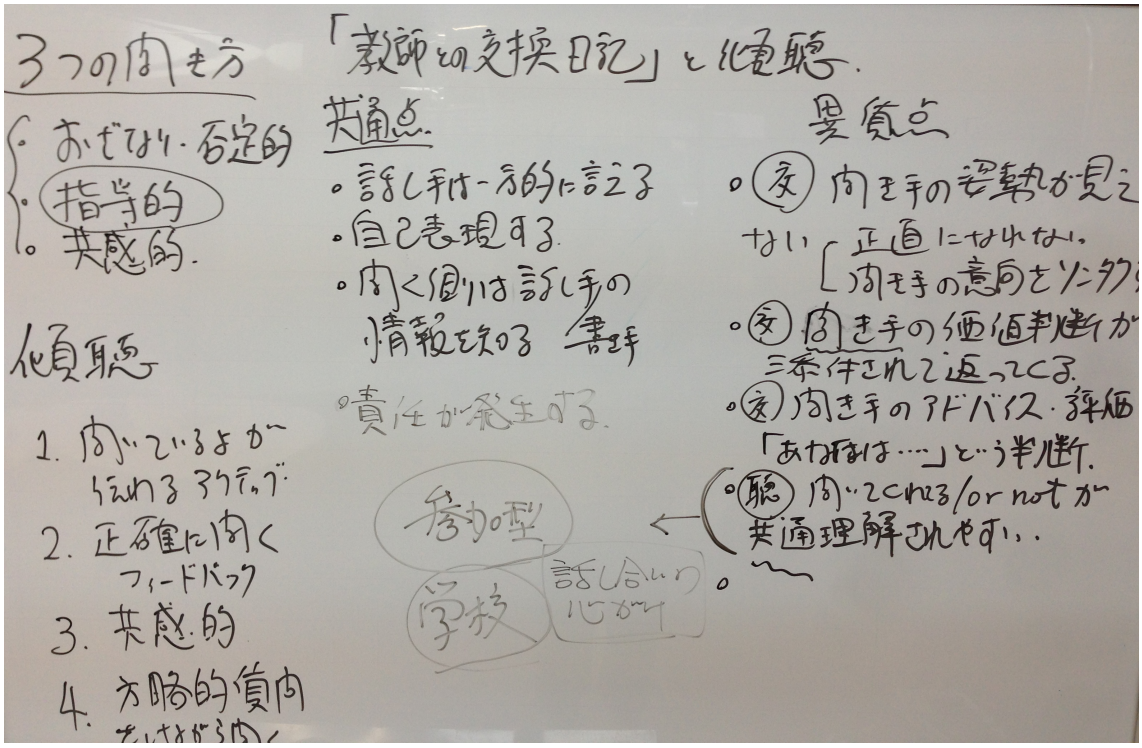
ERIC 主催研修　ESD ファシリテーターズ・カレッジ

スキル「対立」　平成 25 年 2013 年 10 月 26 日 27 日

セッション１　共通基盤づくり

11:00-13:00

1. ジャーナルの表紙にコア・バリューを描く
2. 自己紹介
3. 二日間の流れ
4. ノートテイキング
5. 傾聴
6. 「教員との交換日記」と傾聴、共通点・異質点



7. 話し合いの心がけ
8. 12 のものの見方・考え方

セッション２　流れのあるプログラム

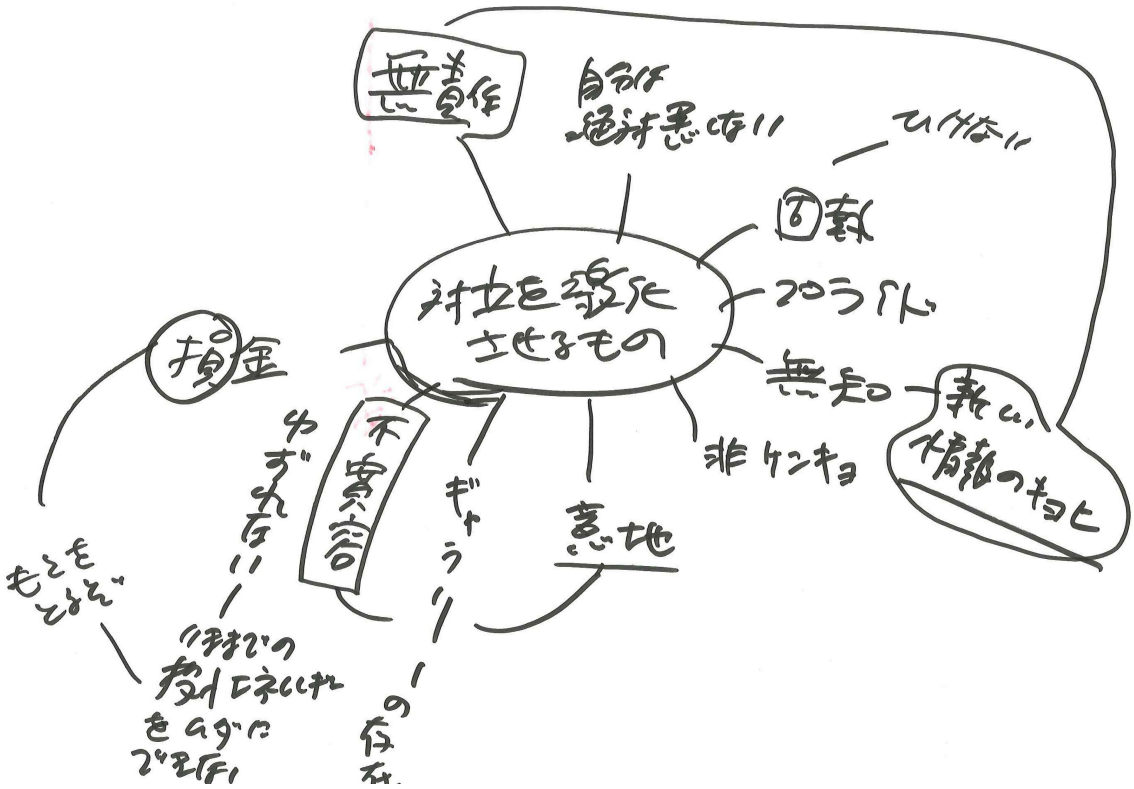
14:00-16:00

1. 対立の色は何色?
2. 対立のイメージ図

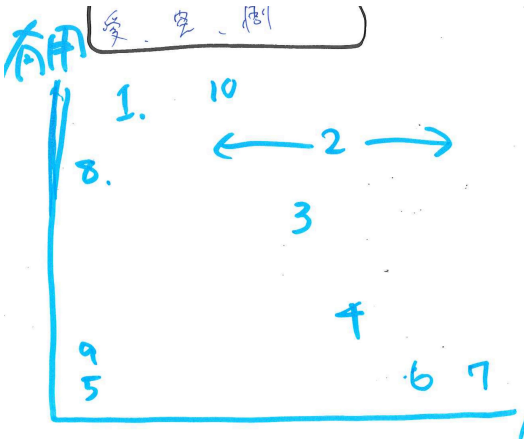
3. 対立は悪くない、連想図に「いい点」を追加する
4. ミニレクチャー「怒りの温度計」
5. 対立を激化させるもの

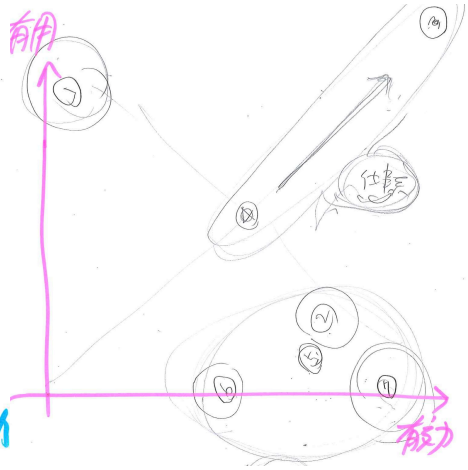
対立を激化させるもの

- 感情
- 勝負へのこだわり
- メンツ
- より大きな利益への欲望
- 恐怖心、不安
- 相手が増長することへの不安
- 力をゆるめると反動がこわい



6. ジャーナルをつける「対立の扱い方」「対誰」
7. 対立の扱い方・利点と限界[個人作業→ペア作業]
8. 扱い方の「有効・有用」の二次元軸



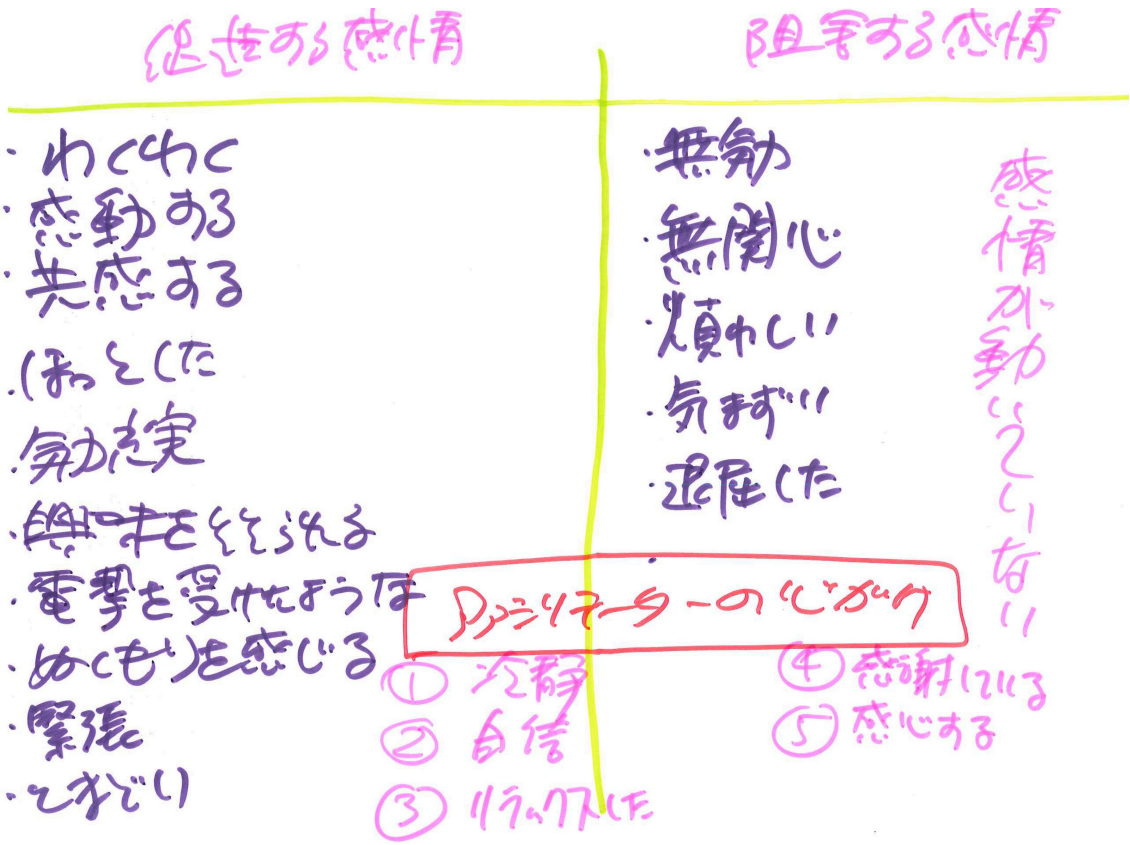


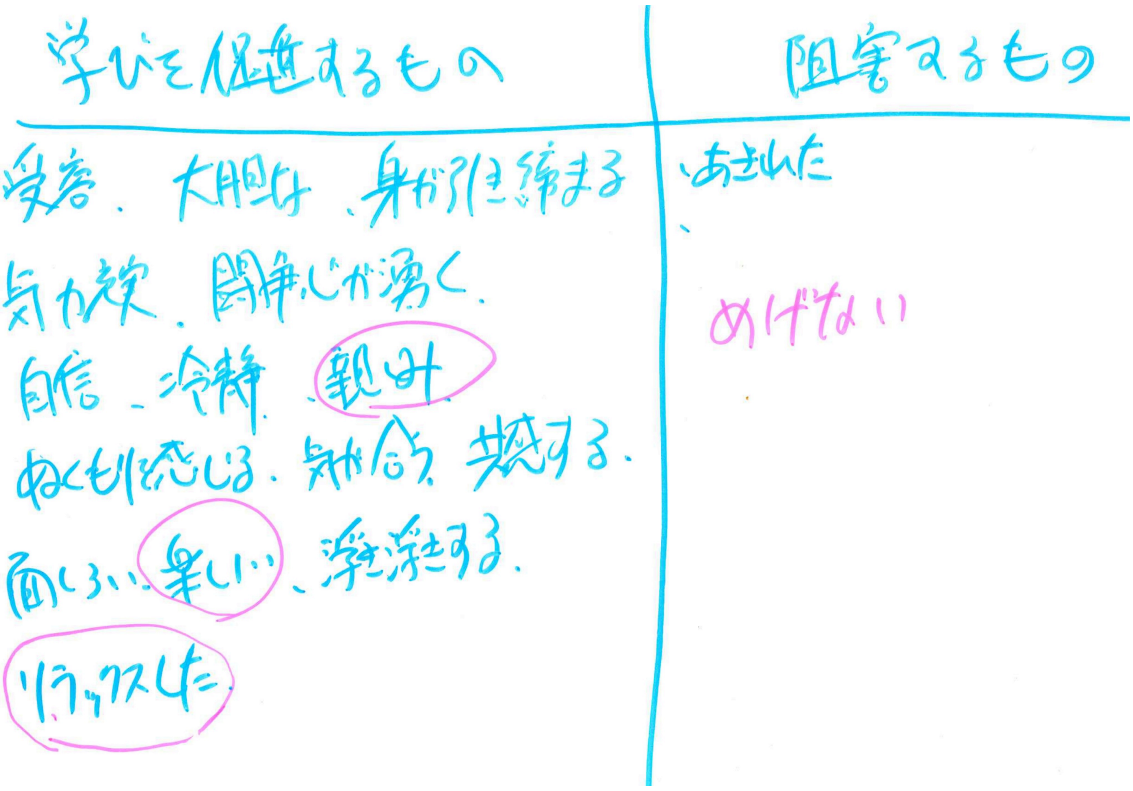
9. 調停のモデルで「対立から学ぼう」のカリキュラムを概観する

セッション３　ふりかえりとまとめ

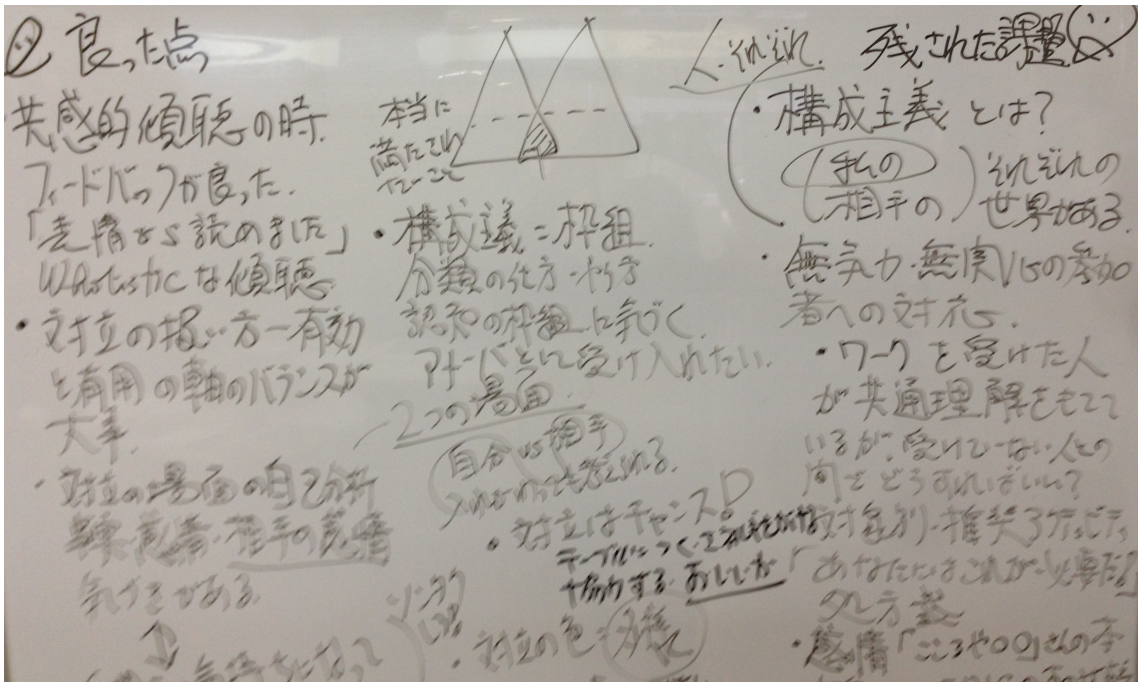
16:10-18:00

1. さまざまな感情 WS でふりかえり
2. 感情の背景の価値観をふりかえる
3. 学びを促進するもの/阻害するもの
4. ファシリテーターの心がけ





5. ノートテイキング
6. ふりかえりの eQi

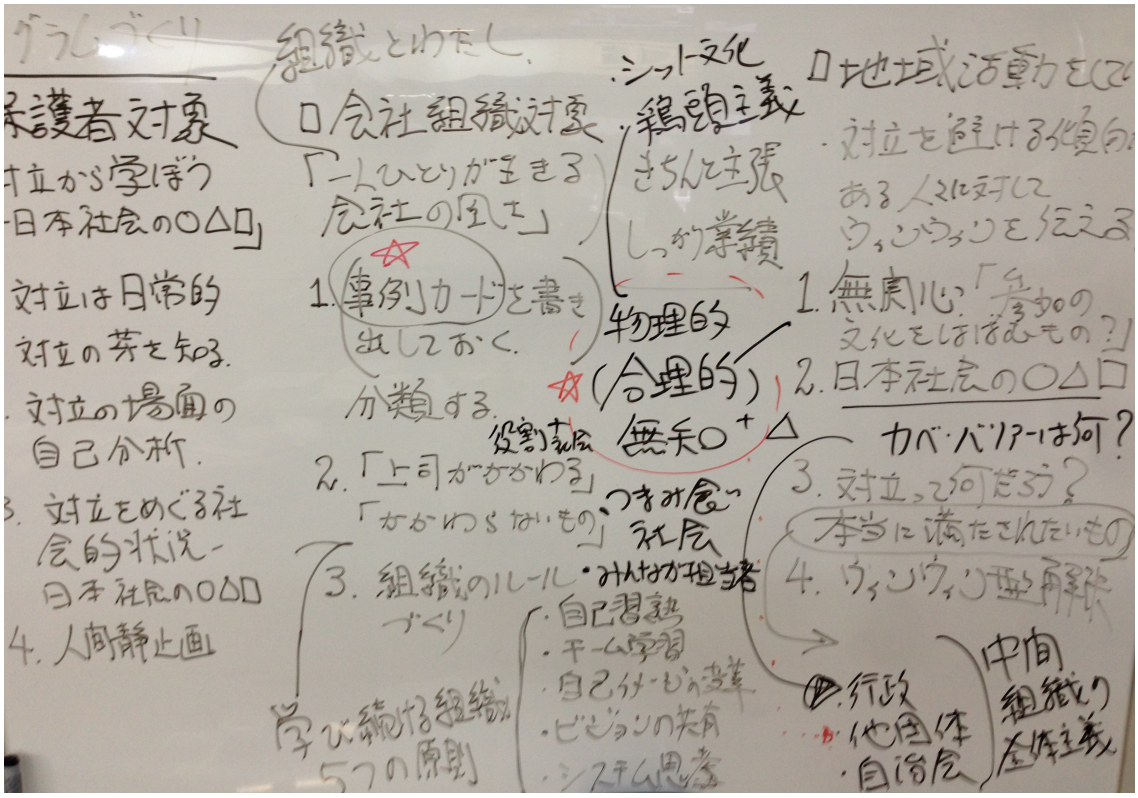


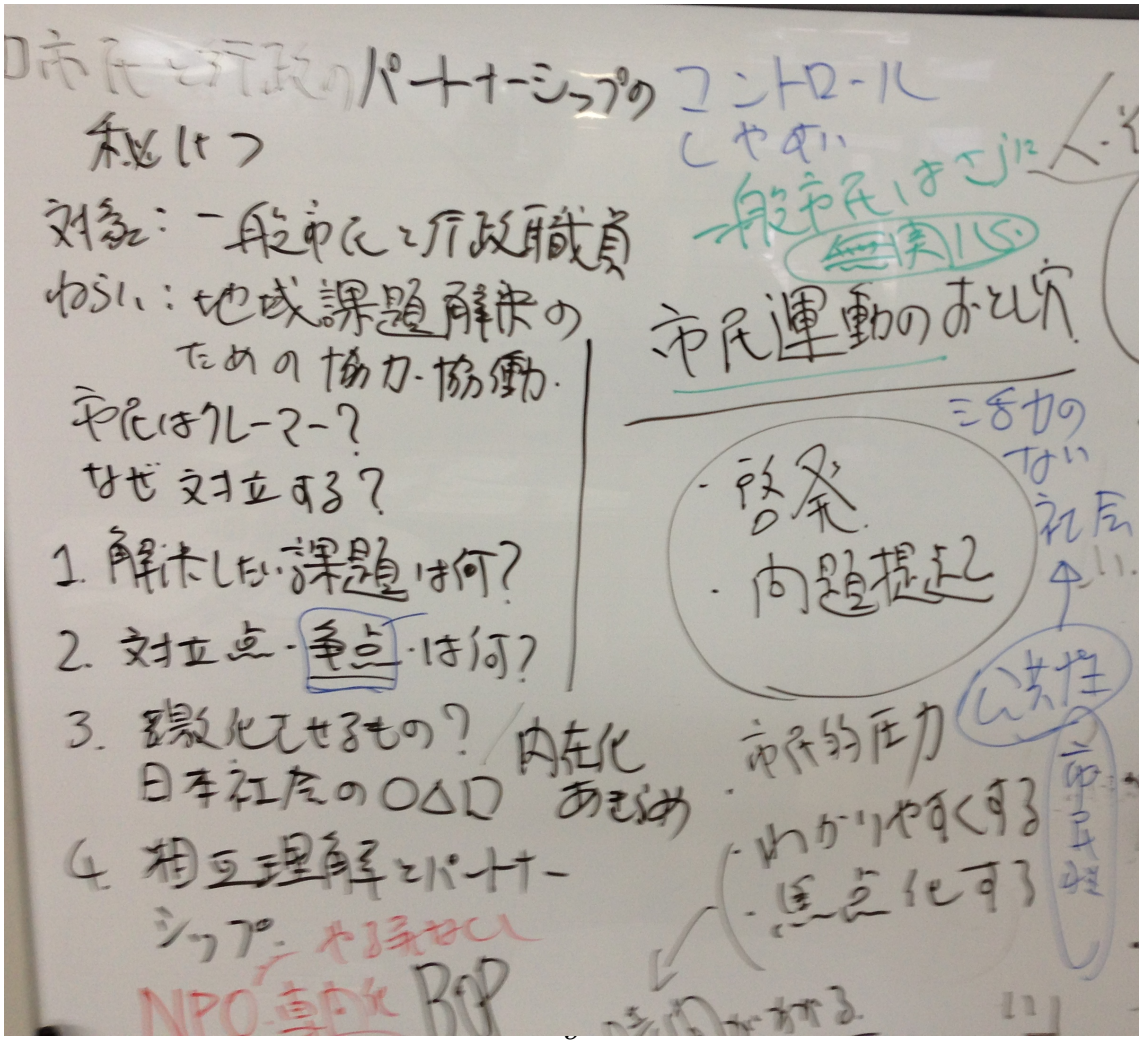
7. テキスト・リーディング
8. 全体共有

セッション４　プログラムづくり

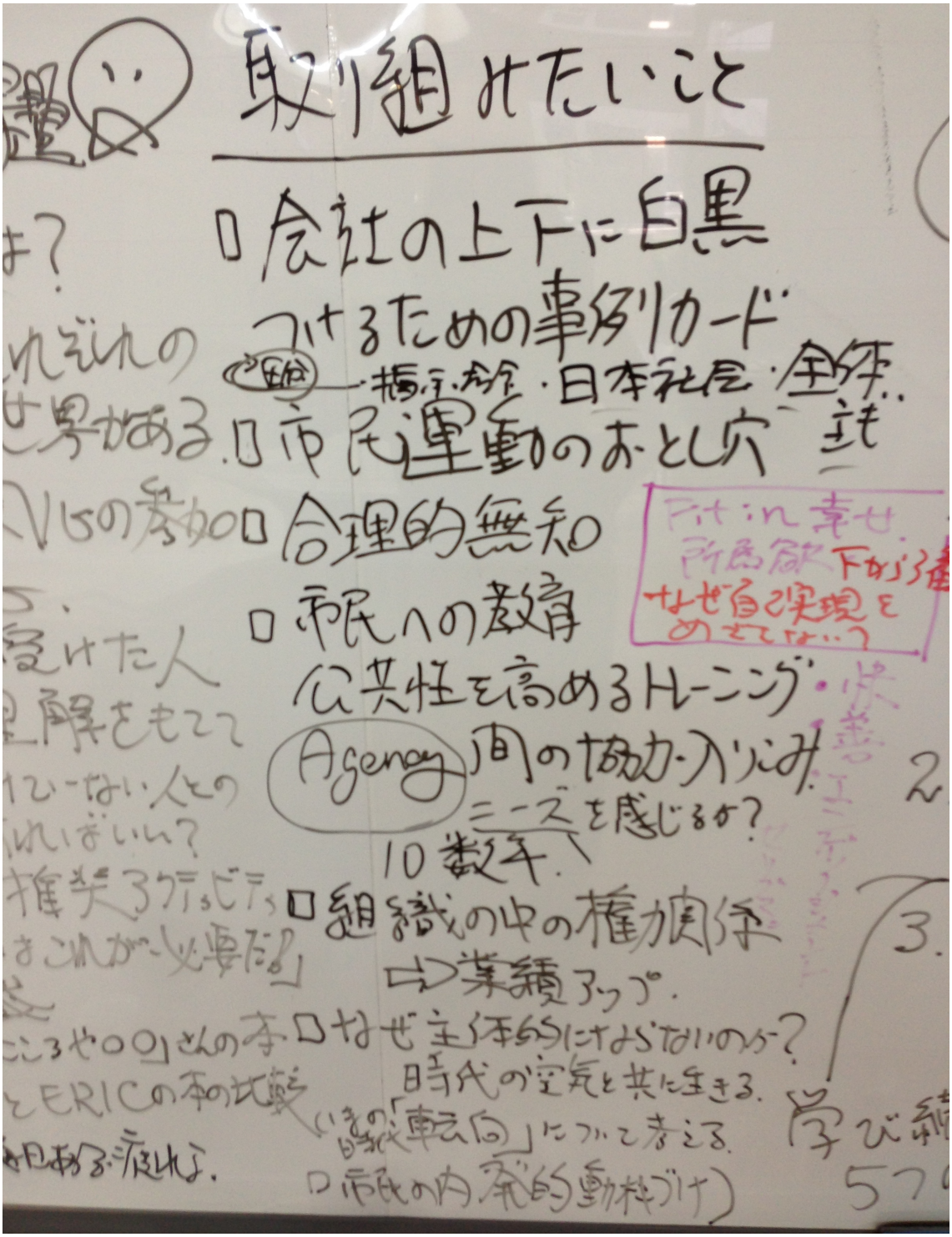
9:00-11:30

1. 昨日のふりかえり「残された課題」
2. 個人で「研修プログラム立案表」でプログラムづくり
3. 全体で検討

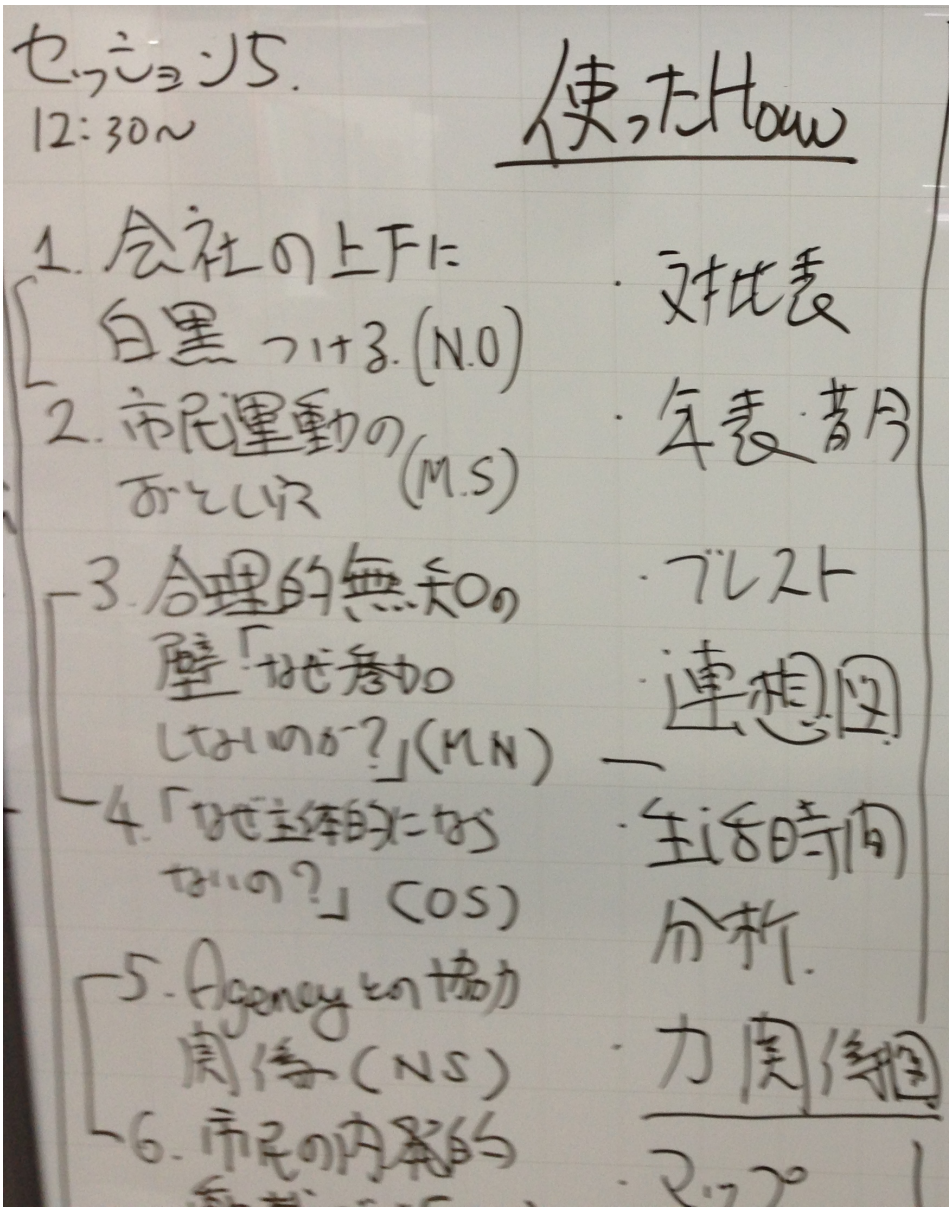

保護者対象
対立から学ぼう
日本社会の○△□
対立は日常的
対立の芽を知る
対立の場面の自己分析
対立をめぐる社会的状況
日本社会の○△□
人間静止画
組織とわたし
□会社組織対象
「一人ひとりが生きる会社の風土」
1. 事例カードを書き出しておく
分類する
2. 「上司がかかわる」「かかわらないもの」
3. 組織のルールづくり
学び続ける組織 5つの原則
シャッター文化
鶏頭主義
きちんと主張
しっかり業績
物理的
(合理的)
役割主義
無知○+△
つきみ食い社会
みんなが担当者
自己習熟
チーム学習
自己イメージの変革
ビジョンの共有
システム思考
□地域活動をして
対立を避ける傾向
ある人に対して ウィンウィンを伝える
1. 無関心「多様の文化をしばるもの?」
2. 日本社会の○△□
カベ・バリアーは何?
3. 対立って何だろう?
本当に満たされたいもの
4. ウィンウィン型解決
行政
他団体
自治会
中間組織
全体主義


□市民と行政のパートナーシップの秘けつ
対象:一般市民と行政職員
ねらい:地域課題解決のための協力・協働
市民はクレーマー?
なぜ対立する?
1. 解決したい課題は何?
2. 対立点・重点は何?
3. 顕在化させるもの? 日本社会の○△□
内在化 あきらめ
4. 相互理解とパートナーシップ
やる気なし
NPO 自治会 BOP
コントロールしやすい
一般市民はさじに
無関心
市民運動のおとし穴
啓発
問題提起
活力のない社会
公共性
市民性
市民的圧力
わかりやすくする
焦点化する

4.　さらに深めたい課題について共有



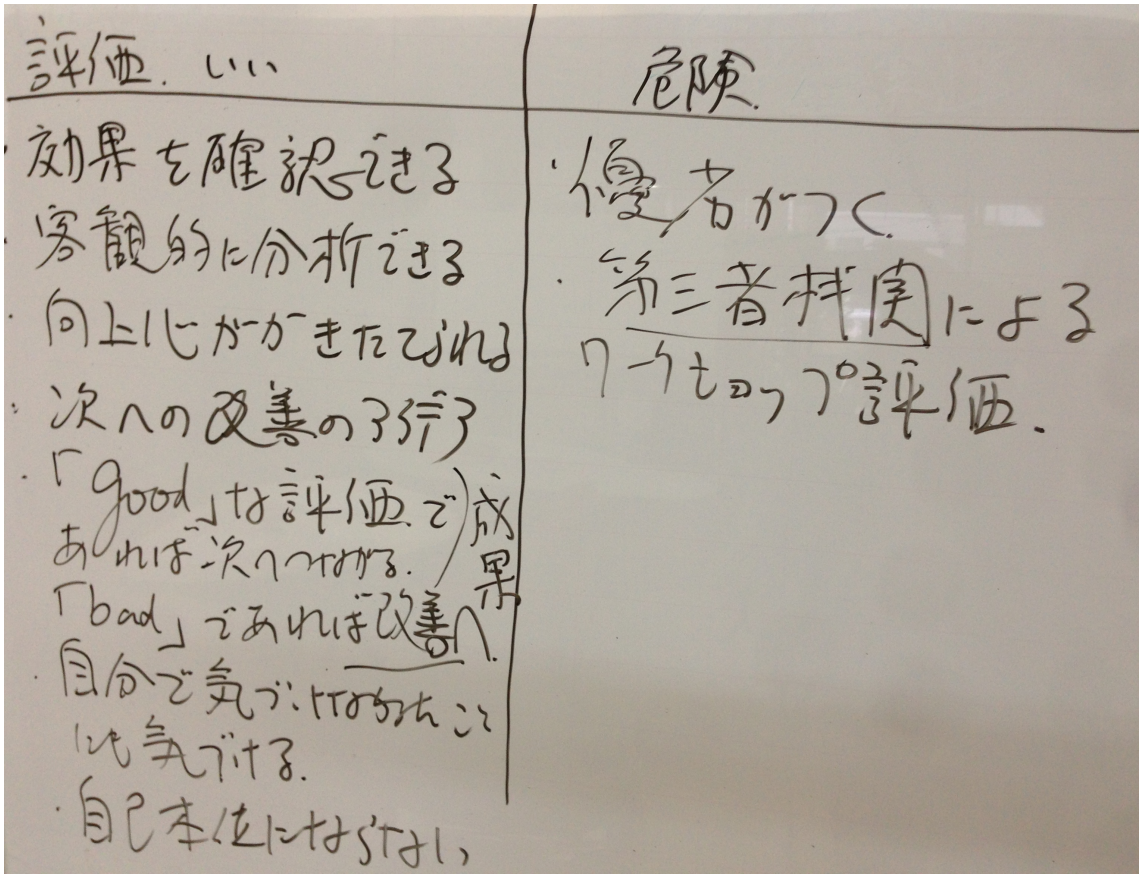
セッション 5　課題の分析　12 のものの見方・考え方を徹底活用
12:30-14:30

1. 会社の上下に白黒つける　　事例カードをつくる
2. 市民運動の落とし穴　　連想図
3. 合理的(物理的)無知の壁「なぜ参加しないのか?」　連想図
4. なぜ主体的になれないのか?　連想図
5. 実施団体との協力関係を築くには?
6. 市民の内発的動機づけ　　連想図
7. ふりかえり「使った How をチェックする」
8. 

セッション 6　ふりかえりと個人的行動計画

14:50-16:00

1. 二日間の物語をジャーナルに記録する
2. ジャーナルの回し読み
3. マッサージはメッセージ
4. 個人的行動計画 6 つの 5W1H
5. 「未来を築くインタビュー」で傾聴
6. 評価の力と落とし穴



配布資料

- atERIC2013CR 資料
- 対立の扱い方　『対立は悪くない』p.19
- 未来を築くインタビュー　『未来を学ぼう』p.193
- 研修プログラム立案表

参考資料

■　地球温暖化論のウソとワナ　史上最悪の科学スキャンダル　伊藤公紀、渡辺正、KK ベストセラーズ、2008　http://ericweblog.exblog.jp/18680143/

■　江戸時代とはなにか　日本史上の近世と近代
尾藤正英、岩波書店、2006 年　http://ericweblog.exblog.jp/15372523/

■　中国化する日本　日中「文明の衝突」一千年史
與那覇潤、文藝春秋、2011　http://ericweblog.exblog.jp/18153645/

■　科学革命の現在史　日本の持続可能な未来のために
中山茂、吉岡斉、学陽書房、2002　http://ericweblog.exblog.jp/17569835/

■